

【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	就労継続支援A型事業所COCOBASE	代表者氏名	山崎 健二
事業所所在地	愛媛県松山市福音寺町678-8		
経営改善計画書を公表するホームページ		https://www.cocobase2024.com/	
連絡先	電話番号	090-7141-7649	FAX番号
職員数	4	定員	14
利用者数	12	うち身体	0
知的	8	精神	4
その他	0		
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他		設立年月日
			令和6年12月1日
改善計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (1年間とすること)		

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) 事業所を開所したばかりだったので、主な生産活動の中心である農業での収穫が期待できなかったため。 また、グニユーカリが栽培状態が悪く、出荷できなかったため。	(具体的改善策) 時期に合わせて生産性の高い収穫物を作っていく。また、11~12月と3~6月に掛けて大量に野菜(主にパクチーとタマネギ)を収穫できるように調整していく。 ユーカリの管理方法を見直し、出荷できるようにしていく。
---	--

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
・花木(グニユーカリ)・野菜(キャベツ、じゃがいも、サニーレタス、ほうれん草、タマネギ、ブロッコリー、パクチー)・柑橘(いよかん)・洗車代行・多肉植物の苗の委託業務・農作業の手伝い	・花木(グニユーカリ)・野菜(キャベツ、じゃがいも、サニーレタス、ネギ、タマネギ、里芋、パクチー) ・柑橘(いよかん、レモン)・洗車代行・多肉植物の
(※)事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること	

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

現在の収入額	計画期間を通じて達成すべき目標収入額
2,970,418 円	14,828,736 円
(主な費目) ・パクチー、いよかん、ほうれん草の収入 ・多肉植物の苗の委託作業・洗車代行・農作業の手伝い	(積算根拠) 時給956円×4.5時間×22日×12ヶ月×12人=13,628,736円+経費1,200,000円

(注)目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
554,794 円	1,200,000 円
(主な費目) 苗代、種代、肥料	(積算根拠) (苗、種、肥料)月100000円×12ヶ月=1200000

5 生産活動に係る事業の収入-生産活動に伴う必要経費

現在の「収入-経費」	計画期間後の「収入-経費」
2,415,624 円	13,628,736 円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
3,567,908 円	13,628,736 円
(積算根拠)(12月)859,904円 (1月)773,558円 (2月)787,580円 (3月)1,146,876円	(積算根拠) 時給956円×4.5時間×22日×12ヶ月×12人=13,628,736円

事業所代表者署名欄 山崎 健二

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
※別紙様式2-2「経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等」、改善を見込む要因となる書類を添付すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類の添付を求めています。

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】別紙

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

- ※提出の際、以下のような就労支援事業収益の改善を見込む要因となる書類を添付すること。
- 経営改善計画期間中に生産活動に係る事業の収入額の増加又は必要経費の減少を見込む要因となるもの
 - 利用者の平均労働時間の改善を見込む要因となるもの
 - 利用者に支払う賃金総額の増加を見込む要因となるもの

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
収入額の増加	昨年度、ユーカリの栽培を失敗し出荷できなかった。	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	栽培方法を見直し、マニュアル通りの栽培を行う。園地を放置せず定期的に確認するようにする。
収入額の増加	野菜によっては単価が下がったり、生産性が期待できないものがある。	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	あまり値が下がらないたまねぎやパクチーを多く栽培し、ブロッコリー等の単価の低いものは栽培しない。また、夏場や冬場は栽培が難しいので春と秋に収穫できるようにしていく。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。